

# 最新の心臓血管治療解説

## 徳大病院が市民講座

徳島大学病院の市民公開講座「徳島心臓血管外科フォーラム」(同病院心臓血管外科主催、徳島新聞社共催)が14日、徳島市の徳島大大塚講堂であり、身体への負担を最小限に抑える「低侵襲心臓血管外科治療」について、専門医4人が講演した。

徳島大学病院心臓血管外科長の秦広樹教授は、虚血性心疾患の冠動脈バイパス手術について解説。胸部を大きく切開して胸骨を切

断し、心臓を停止させて行う従来の方法だけでなく、心臓を止めない「オフポンプ手術」や、肋骨の間を6〜8センチ切開するだけの「小開胸手術」もあると紹介した。

プロ野球阪神の元投手、藤川球児氏が特別講演。藤川氏は米大リーグ挑戦1年目の2013年に右肘を痛めた。手術が決まり、落ち込んでいたが「手術前に1年後の復帰予定日が決められ、『この日には間違いな

く良くなる。いつまでも沈んでいるんじゃない」と医師から叱咤され、アメリカに来てよかったと思った」などと振り返った。

◆ (青木忍)

新型コロナウイルス感染症対策として一般来場者は入場できません。12月19日付朝刊に詳細を掲載します。



最新の心臓血管外科治療について説明する秦教授＝徳島市の徳島大大塚講堂